

【中の島公園・中の島スポーツグラウンド】

(吹田市 土木部公園みどり室・都市魅力部文化スポーツ推進室)



外観

【中の島公園】



【中の島公園スポーツグラウンド】



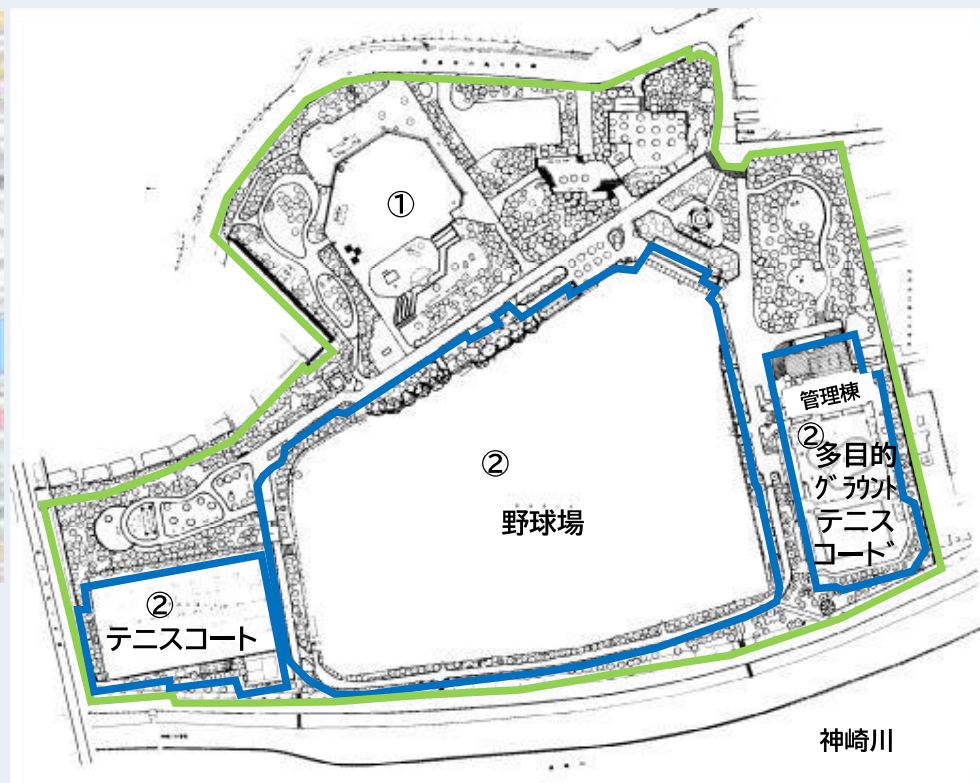
位置図・施設配置図

【位置図】



【施設配置図】

- ① 中の島公園 ② 中の島スポーツグラウンド



基本情報【公園】

開設年度	昭和31年(1956年)	設置者	吹田市
設置目的	公共の福祉の増進		
主な事業	-		
所在地	吹田市中の島町6番		
最寄駅	阪急電鉄千里線 下新庄駅より約800m/徒歩約12分 阪急電鉄千里線 吹田駅より約900m/徒歩約13分		
開館時間	24時間		
施設内容、利用料金	・遊歩道 ・遊具広場 ・トイレ ・駐車場:最初の30分無料、30分毎に100円 他		
R4年度利用者数	-		
令和4年度の指定管理者	未導入		

基本情報【スポーツグラウンド】

開設年度	昭和39年(1964年)	設置者	吹田市
設置目的	市民の健康の増進を図るとともにスポーツに親しめる街づくりに寄与することを目的としてスポーツグラウンドを設置する。		
主な事業	施設管理(整備含む)及び施設貸出し手続き等		
所在地	吹田市中の島町6番		
最寄駅	阪急電鉄千里線 下新庄駅より約800m/徒歩約12分 阪急電鉄千里線 吹田駅より約900m/徒歩約13分		
開館時間	・野球場・テニスコート7:00～21:00※12月1日～2月末は9:00～21:00 ・多目的グラウンド9:00～21:00		
施設内容、利用料金	・野球場:1面2時間1500円(ナイター照明料30分2000円) ・テニスコート:1面2時間600円(ナイター照明料30分250円) ・多目的グラウンド:9:00～17:00無料、そのほか1面2時間2000円(ナイター照明料30分250円) ※野球場、テニスコート、多目的グラウンドの使用料は市民以外10割増 ※時期により、ナイター点灯時間が異なります。		
R4年度利用者数	利用者67,540人(令和4年4月～令和5年2月分)		
令和4年度の指定管理者	スポーツテクノ和広・吹田市体育協会グループ <令和4年度指定管理料> 36,855千円		

過去5年間の利用状況・収支情報

利用状況

【公園】令和3年度公園内利用者数調査結果（単位：人）

	7:30	10:00	12:30	14:30	16:30	18:00
9/6(月)	30	42	62	35	76	74
9/20(月・祝)	78	125	127	150	139	55
合計	108	167	189	185	215	129

【スポーツグラウンド】※R4は令和4月～令和5年2月

	H30	R1	R2	R3	R4 (※)
野球	20,378	22,117	24,496	23,849	28,118
テニス	26,257	25,842	21,026	32,502	34,427
多目的G	5,755	3,050	3,174	4,036	4,995
合計	52,390	51,009	48,696	60,387	67,540

収支情報

【公園】-
【スポーツグラウンド】

	H30	R1	R2	R3	4年間 合計
収入					
利用料金収入	0	0	0	0	0
自主事業収入	0	8,000	0	0	8,000
委託料収入	35,555,982	36,528,000	36,697,995	36,470,971	145,252,948
支出					
事業経費	39,086,847	40,395,126	34,640,176	39,815,750	153,937,899
自主事業経費	0	7,664	0	0	7,664
収支差	▲ 3,530,865	▲ 3,866,790	2,057,819	▲ 3,344,779	▲ 8,684,615

事業概要

内容

公園の魅力向上を図るため、パークマネジメントの取組として、官民連携による再整備・管理運営を実施

手法

再整備

Park-PFI等を活用した
収益施設の設置、既存施設
の改修

管理運営

指定管理者制度を活用した
官民連携による管理運営

再整備・管理運営の連携による
相乗効果の発揮

先行してベースアップの再整備工事を市で行った後、
Park-PFI事業者と指定管理者を一括公募
(期間:15年以上20年以内)

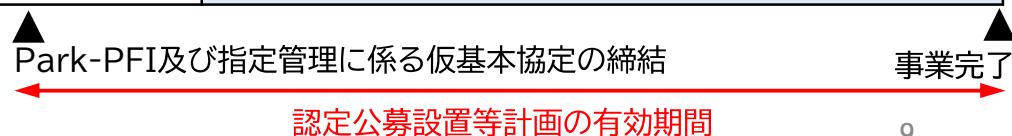
事業開始までのスケジュール(予定)

R.3		R.4	R.5		R.6		R.7	R.10	
夏	秋	夏～冬	春	夏～冬	春～夏	秋	春	春	
公園の魅力向上に向けた サウンディング型市場調査		(住民利用者 学校へのアンケート等) ニーズ調査 利用者数調査	市民参加型ワークショップ(全5回) 社会実験	公園の目指すべき姿 箒定	再整備(市発注)実施設計	再整備(市発注)工事開始	事業者募集 選定	再整備工事(Park-PFI) 指定管理開始	④の島スポーツグラウンド 一体管理開始

事業期間イメージ

事業期間15年以上20年以内

		令和5年度	令和6年度	令和7～11年度	令和12～16年度	令和17～21年度	令和22～26年度
市発注再整備		実施設計	再整備工事				
Park-PFI	公募対象公園施設		事業者公募・選定	工事施工 設置管理許可(5年)	設置管理許可の更新	設置管理許可の更新	解体・撤去 現状復旧 設置管理許可の更新
	特定公園施設			工事施工 指定管理			
指定管理	公園			指定管理			
	スポーツグラウンド	指定管理(令和5～9年度)			指定管理(令和10年度～)		



中の島公園の目指すべき姿(素案)

概要と課題

中の島公園は、阪急千里線吹田駅・下新庄駅に程近い神崎川沿いに位置する吹田市南部地域の中核となる緑豊かな地区公園です。周辺には主に低層住宅地が広がり、吹田発祥の地である内本町・南高浜街にも近く、歴史性を有する居住地域となっています。かつて夏場の人気スポットであった市民プールが老朽化によりH28年に閉鎖され、ナイター設備を有するテニスコートや多目的グラウンドに置き換わり、公園中央の野球グラウンドと共に、市外を含めた盛んな市民のスポーツ活動を支えています。

また、広場での地域の子ども達の遊びや、ラジオ体操・将棋などの地域住民の交流、豊かに育まれたみどりの中での散歩やジョギング、隣接する中学校の部活動など、多様な日常利用の受け皿として親しまれています。

<公園概要>

種 別：地区公園

所 在 地：中の島町6番

面 積：64,000m²

開設年月日：昭和31年（1956年）

そ の 他：広域避難場所指定



中の島公園の目指すべき姿(素案)

〈課題〉

① 南吹田市域における市民交流活動の拠点化

スポーツ利用に加え、広場や遊具での遊びや、ウォーキング、犬の散歩、ラジオ体操など地域の人々の利用が盛んです。

一方で、利用者同士で楽しめる機会が少なく、地域交流及びにぎわいの拠点としての場づくりや仕組みが必要です。

② スポーツ施設と公園利用の融合

中低木や盛土等によって、広場や園路とスポーツ施設との視覚的繋がりが乏しく、公園全体の広がりや一体性向上の改善が必要です。

野球場の平日利用の向上や多種目・多目的な利用への対応など運用の見直しが必要です。

③ 公園施設の老朽化への対応

開設後 60 年以上が経過した本公園では、施設の老朽化や、樹木の高密度化に伴う生育不良や見通し不良が進行しています。

遊具や休憩施設等の更新をはじめ、樹木の健全な成長と公園として安心できる見通しや開放性の確保、強風等で傷んだ樹木の整理等、密度管理を行う必要があります。

④ 緑や川辺の環境資源の保全・活用による魅力向上

豊かに育った川辺の樹林は市域の外にない貴重な都市の自然環境です。一方で、公園と水辺の隔たりや市民ニーズへの対応が不十分で、魅力化には至っていません。

近隣市民を中心に、日常的にこの環境に触れ楽しむことができるよう、利用を促すための施設及び空間の再編と運用の仕組みが必要です。

中の島公園の目指すべき姿(素案)

魅力向上に向けた理念

CREATE PARK LIFE

～ 「水辺の森 × スポーツ × 地域交流」 みんなでつくろう 中の島 パークライフ ～

目標像 (パークビジョン)

つながりを実感できる
暮らしを実現！

- 市民が主体となり幅広く楽しみの活動が展開する、新たな地域の賑わいと交流の拠点を創出します。
- 市民による交流催し等を開催し、市民・行政・事業者の連携を模索し交流活動の効果と継続性を高めます。
- 市民によるニュースポーツの導入など公園利用の多様化を図り、多世代の交流を促します。

緑豊かでうるおいのある
都市生活を実現！

- 水辺の森をまちに開くべく、開放的な空間をつくり、自然と共に過ごす魅力が実感できる場とします。
- メタセコイアや桜並木の保全・再生による水辺の創出、森の憩いやスポーツを観覧できる空間の創出など、緑の資源を活かした魅力化を図ります。
- 豊かな自然を最大限に活かし、ニューノーマルな屋外での市民ニーズに対応した公園とします。

個性と活力のある
都市づくりを実現！

- 市民による公園活動の継続・発展を試みることで、関係者間の連携を進め、協力の仕組みを築き、活力あるまちづくりに繋がります。
- 中の島公園の将来像を地域で共有し、公園から共感と協働の輪を広げ、活力向上の羅針盤とします。

中の島公園の目指すべき姿(素案)

魅力向上イメージ

- 凡例
- a: メインエントランス
 - b: もりのひろば
 - c: あそびのひろば
 - d: いろどりひろば
 - e: みずべエントランス
 - f: スポーツ施設・管理棟周辺



森を活用した遊び場

水の遊び場

市民活動の受け皿となる広場

開放的なメインエントランス



キレイで安心なトイレ



開放的なスポーツ施設



至: 吹田駅

至: 下新庄駅

神崎川



既存樹を活かした森での憩い (R4.10.8 実験)



地域の人たちが集える交流の場



※写真の施設、取組、ゾーン等はイメージであり、決定した事業計画ではありません。
また、ゾーンの全範囲で展開するものではありません。

中の島公園の目指すべき姿(素案)

ゾーン別運営方針

ゾーン名	方向性	取組イメージ
a:メインエントランス	市民の交流の場となる賑わい広場ゾーン	<ul style="list-style-type: none"> ・明るく開放的なエントランスの顔づくり ・市民の多目的な活動の受け皿となる交流の広場を創出 ・施設や樹木の整理による安全安心の確保 ・利便性を向上する駐車場整備
b:もりのひろば	既存の森を最大限に活かした 憩い楽しみゾーン	<ul style="list-style-type: none"> ・豊かに育まれた高木の保全と、中低木の整理による明るい森づくり ・ハンモックなど自由に緑とふれあい楽しめる場の創出 ・自然を楽しみながら憩える飲食施設等の整備
c:あそびのひろば	多くの子どもたちの遊びの受け皿となる 遊び場ゾーン	<ul style="list-style-type: none"> ・親しまれてきたコンクリート遊具の修繕と、多くの子どもたちの遊びの受け皿となる大型遊具の新設 ・遊び回れる伸びやかな芝生の丘整備 ・園路の集約や施設整理と、森の活用による遊び場の拡幅・魅力化 ・夏の水遊びやドッグランなど地域のニーズの受け皿となる広場整備
d:いろどりひろば	桜など彩りの楽しみとスポーツ観覧ゾーン	<ul style="list-style-type: none"> ・老木となった花木の更新による彩の再生 ・中低木の整理等によるスポーツ施設への観覧空間の整備
e:みずべエントランス	水辺の開放感を楽しめ健康活動の拠点となる 新たなエントランスゾーン	<ul style="list-style-type: none"> ・水辺やスポーツ観覧を楽しめるマウンド等の整備 ・水辺やスポーツを楽しみながら憩えるアウトドアスペースの設置 ・堤防沿いからのユニバーサルなアクセス動線整備 ・ウェルビーイングを高める広域周遊ネットワークの拠点施設整備 ・鉄道や橋、対岸への顔づくりと水辺の景の魅力化
f:スポーツ施設 ・管理棟周辺	市民の多用なニーズに対応した スポーツ施設・観覧・管理ゾーン	<ul style="list-style-type: none"> ・多様で柔軟なスポーツ施設の運営管理・サービスの向上 ・キレイな便所やシャワー室、市民が集まれる屋根下の交流空間整備 ・中低木の整理や造成等による園路・広場とスポーツ施設の一体化 ・舗装の不陸や急こう配などバリアーを解消した散策園路整備

民間事業者に対して期待すること

- Park-PFIによる民間活力を導入した収益施設の整備

公園の価値を向上できる収益施設(公募対象公園施設)や、広場やトイレ等の整備(特定公園施設)

一体的な管理運営による効率化や、将来的な発展に向けた長期的な視点を持つ効果的な取り組みの推進

- 同一事業者による本公園の一元管理

全ての施設を同一事業者(Park-PFI事業者及び指定管理者)での一元管理

- 経理事務

Park-PFI事業及び指定管理事業に係る事業毎の収支報告及び本事業全体の収支報告

- 本事業より期待される効果

長期的な視点での管理運営による人材や設備投資、便益施設の設置、多様な事業展開、SDGsの達成に付与する取組

公園管理者と収益施設運営者の連携、収益施設運営者による維持管理への協力、共通テーマによるプログラム提供・イベント開催

最後までご覧いただき
誠にありがとうございました。
個別相談会にもぜひご参加ください！！

【お問合せ先】

(全般・公園)

担当所属：吹田市 土木部公園みどり室
計画グループ

電話番号：06-6834-5364

メール：dousei-kouen@city.suita.osaka.jp

(スポーツグラウンド)

担当所属：吹田市 都市魅力部文化スポーツ推進室
施設グループ

電話番号：06-6384-2394

メール：spo-shisetsu@city.suita.osaka.jp

